


社会福祉法人さぽうと21

2023年度 事業報告書



社会福祉法人さぽうと21 

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6階

TEL : 03-5449-1331 ・ E-mail : info@support21.or.jp

URL : <http://support21.or.jp/>

1979年11月24日、当法人の前身である「インドシナ難民を助ける会」（現 認定NPO法人 難民を助ける会 [AAR Japan]）が発足しました。政治・宗教・思想に縛られない国際的な救援・協力活動を目指した、日本初の難民支援の市民団体のスタートでした。以後、日本が受け入れた難民をはじめ、日系定住者及び中国帰国者の子弟等にも支援を拡げ、主に教育面で活動を続けています。今年度も世界的情勢の大きな変化を注視しつつ、避難民に対する緊急支援も行っていました。活動の充実にご協力くださった皆さまに、心より御礼申し上げます。

I. 生計困難者に対する生活援助事業

1. 自立支援事業（就学支援）

(i) 生活支援プログラム

大学、短大、専門学校に在籍する「難民とその子」「日系定住者または中国帰国者の子」等、主に「定住」「永住」の在留資格をもち、経済的事情により就学が困難な学生に「生活支援金」を支給する。

支給状況

- 支給者数：20名（2名は7月以降、坪井基金による支給に移行）
- 支給期間：2023年4月～2024年3月
- 支給総額：4,440,000円/年額（1名あたり20,000円/月）

学校種別	人数	出身/ルーツのある国・地域
専門学校	2名	ベトナム：2
短大	1名	ラオス：1
大学	17名	ブラジル：4、ミャンマー：4、ペルー：3、中国：2、ベトナム：2 台湾1、マレーシア1

（※ ルーツのある国・地域は、受給者数が多い順に記載）

(ii) 坪井一郎・仁子 学生支援プログラム（通称：坪井基金）

東洋熱工業株式会社の創業者である故 坪井一郎様、仁子様のご遺贈により2005年に開始。同社の株主配当金をもとに、主に理系専攻の大学3年生以上、大学院生の「難民とその子」や「日系定住者または中国帰国者の子」など、主に「定住」「永住」の在留資格をもち将来国内外での活躍が期待される学生に、学業推進のための「生活支援金」を支給する。

支給状況

- 支給者数：9名（うち、2名は7月から）
- 支給期間：2023年4月～2024年3月
- 支給総額：4,440,000円／年額（1名あたり40,000円～50,000円／月）

学校種別	人数	出身／ルーツのある国・地域	
大学	6名	ブラジル：3、台湾：1、ベトナム：1、ミャンマー：1	
大学院	修士・博士	3名	ブラジル：1、ベトナム：1、ミャンマー：1

（※ ルーツのある国・地域は、受給者数が多い順に記載）

支援生報告会の開催

- 日時：2023年11月23日（木）午後（終了後、交流会）
- 会場：JICA 東京 セミナールーム 4F 411号室（東京都渋谷区）

今年度もテーマや発表形式などを支援生と共同で企画した。支援生が決めたテーマは「十人十色の価値創造～外国ルーツをもった学生の生活様式～」。各自のこれまでの学校生活を振り返るとともに、卒業後のライフスタイルなどについて、グループ発表を行った。

◆報告した支援生の感想

「自身のルーツについて日々感じていることは、どこまで踏み込んでいいのか、他の人にはとても聞きにくいことでした。しかし、自分と同じことを感じている人がいると知って、とても嬉しかったです。また、発表を作る過程で、大学やルーツが違っても、楽しく話せて、いい思い出と大切な友達ができました。」

◆参加者の感想

「若い方々が自分たちで考え、自分たちの言葉で伝えようとしていることが伝わりました。色々な考え方があってもそれを否定するのではなく、互いに尊重している様子がうかがえる、とても素晴らしい会でした。」



(iii) 外国にルーツのある学生に向けたキャリア支援

経済的に困難な状況にある難民などの外国にルーツのある若者が、学業を継続し、就職して自立していくことを後押しするための取り組みを実施する。

夏期研修会の開催

- 日 時： 2023年8月26日（土）終日
- 会 場： 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

今年度は支援生の希望をもとに企画を検討し、「ソーシャルビジネス」をトピックとして参加型グループワークを実施した。午前の部は、さぼうと21の学習支援ボランティア 八木橋昌也氏（日本アイ・ビー・エム株式会社）を講師に招き、「半径5メートルから社会を変える」をテーマに、『社会とあなたをつなぐもの～ソーシャルビジネスのリアル～』と題した講座を実施した。また、ゲストスピーカーの社会企業家 村上春二氏（株式会社UMITO Partners 代表）の活動・ビジョンやSDGsに関する取り組みなどについて、八木橋氏との対談と質疑応答を行った。午後の部は同じく学習支援ボランティアの山田諭氏（株式会社ブルーコモンズ代表取締役）にファシリテーターを依頼し、『ソーシャルビジネス プレゼン大会』を実施。グループごとにビジネスプランを考え、発表する実践型のワークを行った。



午前の部：講師に質問する支援生



午後の部：プレゼン大会後の投票

◆参加した支援生の感想

研修会を通じて、自分が思っていた「当たり前」を見直すきっかけになりました。今までは「ソーシャルビジネス」という言葉から少し難しい印象を持っており、当日も自分に何ができるのだろうと考えながら会場に向かいました。しかし、難しいと思っていたことが、実は身の回りを少しだけ良くすることの延長線上にあると知り、見方や考え方が大きく変わりました。一方で、起業した方のお話や午後のワークを通じて、正しいと思ったことを貫き通しながら、利益を生み出すことの難しさも知ることができました。就職を控えている今、このような機会に社会と自分のつながりを再確認でき、とても有意義な時間を過ごすことができました。

個人面談の実施

支援生との関係づくりや、進学や就職に役立つ情報を提供する目的で、支援金振込の際などに連絡を取った。また、夏期研修会に参加できない学生を中心に、別途面談の機会を設けた。その他に、住友商事株式会社の社会貢献プログラム「100SEED」に参加するボランティアによる模擬面接やエントリーシートの添削指導など、就職活動に向けたキャリア支援を行った。

◆模擬面接 参加者アンケート

エントリーシートのブラッシュアップや、人事を専門とする方からフィードバックをいただいたことで、以前よりも自信を持って企業面接に臨めるようになった気がします。加えて、自身の難民二世という難しい生い立ちに関しても、どのように面接官に伝えれば良いか、考え方を整理することができました。まだ就職活動は終わっていませんが、納得の内定が得られるよう、継続して懸命に取り組みたいと思います。

資格取得の応援

就職や進学に活かすことのできる資格試験（英検・TOEIC・TOEFL・日本語能力試験）の受験料を補助する「キャリア支援制度」を本年度も継続した。（上限：1名当たり年間10,000円）

就職支度金の支給

正規職員としての就職が決定した支援生に対し、就職支度金を支給した。

- 支給者数：9名（大学8名、大学院1名）
- 支給総額：270,000円（1人あたり30,000円）
- 業種：行政、物流、機械メーカー、商社など

2. 自立支援事業（学習支援）

(i) 日本語、パソコン、学習教科補習等の学習支援

- ・【助成①】 東京都在住外国人支援事業／「難民・避難民等の日本語力・生活力・親力（おやりよく）向上応援プロジェクト」
＜助成総額＞ 759,000 円
- ・【助成②】 一般財団法人ファーストリテイリング財団「難民対象の学習支援室（東部地域）」
＜助成総額＞ 1,261,100 円
- ・【助成③】 公益財団法人日本国際交流センター「外国ルーツ青少年の教育スタート支援」事業／「アフガニスタンから退避した小中高生のためのオンラインを活用した学習支援事業」
＜助成総額＞ 6,328,781 円（確定中）
- ・【助成④】 一般財団法人ファーストリテイリング財団「アフガニスタンから退避した小中高生等のための学習支援事業」
＜助成総額＞ 3,116,182 円
- ・【助成⑤】 公益財団法人アジア福祉教育財団「千葉市高洲地区在住の第三国定住難民子弟に対する教育支援事業」
＜助成総額＞ 5,228,627 円
- ・【助成⑥】 一般財団法人ファーストリテイリング財団「難民の小中高生を対象とした「集中学習支援教室」事業」
＜助成総額＞ 4,165,416 円（夏休み 3,899,018 円、春休み 2,154,462 円）

外国出身者が、単に「必要最低限の日本語を習得すること」だけを目指す支援ではなく、「その自立を後押しし、社会参加の道を拓いていく」ことを目的として以下の教室を運営した。

(1) 4つの対面教室（目黒、錦糸町、稲毛・行徳、高洲）

目黒、錦糸町の教室はミャンマーにつながる方々が受講者の大半を占めるが、アフガニスタン、エチオピア、スーダンなどの地域の出身者もいる。稲毛・行徳教室はシリア、エジプト出身者のみ、高洲教室（通称「らっこう」）は第三国定住プログラムで来日したミャンマールーツの小中学生のみ。

(2) 2つのオンライン中心の教室（通称たてばやし教室：ロヒンギャ二世の小中学生対象、通称がくぷろ教室：アフガニスタン小中学生対象）

(3) オンライン個別日本語・学習支援

2020年4月に開始したオンラインでの個別日本語・学習支援を、ほぼ毎日実施。

(4) 特別な事情を考慮したアウトリーチ（出張）型の個別日本語・学習支援

東京都内3カ所、埼玉県内1カ所で実施。

(5) 長期休暇（夏休み・春休み）を利用した集中学習支援教室

小中高生が学びを継続し、休暇中に苦手分野を集中的に克服できるよう例年通り開催。

開催日時・場所・開催期間

(1) 対面型の教室（通年実施）

目黒教室：毎週土曜日 10 時～17 時（原則）年間 63 回

@ 認定 NPO 法人難民を助ける会（AAR Japan）会議室

錦糸町教室：毎週日曜日 13 時～17 時 @ ROOMS 錦糸町（東京都墨田区）年間 45 回

稲毛・行徳教室：毎週土曜日（事情により日曜日もあり）12 時～19 時

@ レンタルルームサントス（千葉県市川市）他

高洲教室：月～木曜日 16 時～19 時、土曜日 13 時～16 時半 年間 200 回

@ 団地集会室（千葉県千葉市美浜区）

(2) オンライン型の教室（通年実施）

たてばやし教室：月・火・水・金曜日 16 時～19 時、木曜日 16 時半～19 時半、

日曜日 13 時～16 時 年間 369 回 ※年に 2～3 回対面出張教室実施

がくぷろ教室：月曜日～木曜日 17 時～19 時 45 分 年間 201 回

※週末には「宇都宮」「小山」「花見川」にて対面教室実施。

(3) オンライン個別支援（通年実施）

ZOOM（オンライン会議ツール）を用いて曜日を問わずにほぼ毎日実施。

(4) アウトリーチ（出張）型の個別支援（通年実施）

学習者とボランティアの都合により日時を決定。東京都、埼玉県（区役所、教会施設、小学校など）で年間 181 回実施した。

(5) 長期休暇（夏休み・春休み）集中学習支援教室

夏休み：明治学院大学を中心に、稲毛・行徳、高洲、オンラインで実施。

2023 年 7 月 23 日～8 月 25 日（学習者 65 名）

春休み：明治学院大学を中心に、稲毛・行徳、高洲、オンラインで実施。

2024 年 3 月 26 日～4 月 5 日（学習者 61 名）

学習支援室関連の行事等

学習者の学習意欲や日本語力の向上、学習者とボランティアの交流等を目的として「さぼうとクッキングクラブ」などのイベントを実施。ボランティアを対象に、東京都行政書士会品川支部の協力による在留資格についての勉強会も行った。その他、一般財団法人ファーストリテイリング財団/公益財団法人日本テニス協会主催のテニス観戦・テニピン練習会、住友商事株式会社 100SEED 企画招待（FC 東京協力）のサッカー教室などに希望者が参加した。



(ii) その他の委託事業、助成事業

① 文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育の特定のニーズに対応した日本語教育事業地域日本語教育実践プログラム／「難民・避難民等の地域社会へのソフトランディングを支える日本語教育プログラム展開事業」

地域での生活をスタートした主にアフガニスタンからの退避者を対象とした日本語教育事業を実施した。文化庁作成の「つながるひろがるにほんごでの暮らし」を活用した日本語グループレッスンや社会保障制度などを学ぶ成人向けのオンラインワークショップを実施すると同時に日本語教師の社会貢献と難民等への日本語指導を結ぶ「にほんごぶろぼの」の運営を開始した。

■ 事業期間：2023年5月 - 2024年3月

■ 決算額：1,731,638円

② 文化庁 現職日本語教師研修プログラム普及事業／難民等に対する日本語教師【初任】研修

2019年・2020年度に文化庁「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」を受託し、「難民等に対する日本語教育に携わる人材養成のための研修開発事業」を実施した成果を活かして、難民等に対する日本語教師【初任】研修を行った。

■ 事業期間：2023年5月 - 2024年3月 ■ 決算額：11,215,118円（確定中）

■ 研修修了者：47人

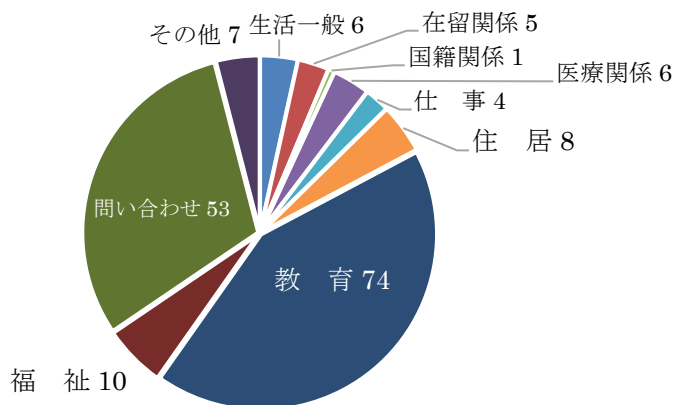
③ 公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部「第三国定住難民12陣定住後の日本語教育支援事業(アフターケア)」

■ 事業期間：2023年4月 - 2024年3月 ■ 決算額：1,623,941円（助成金額1,600,000円）

■ 受益者（学習者）：成人7人、子ども2人

II. 生計困難者に対する相談事業

案件数	174 件
地域	17 カ国
	アジア 7 カ国、 アフリカ 5 カ国、 中東 3 カ国、 中南米 2 カ国



原則として、日曜祝日を除く 10 時～17 時に、電話、面談、Eメール、ホームページの問い合わせフォームより、各種相談を受け付けた。今年度は日本語学習を中心に、特に教育関連の相談が多く寄せられた。必要に応じて行政や関係団体などへの橋渡しも行った。また、役職員のケースシェアを定期的に行った。

<2023 年度統計>

■ 17 カ国 / 案件数：174 案件（前年度は 17 カ国・162 案件）

種別	案件数	主な内容
生活一般	6 件	家族関係、地域における支援の情報提供
在留関係	5 件	在留資格、難民申請の手続き、家族呼び寄せ
国籍関係	1 件	世帯分離
医療関係	6 件	健康状態、メンタルヘルス
仕事	4 件	RISE プログラムへの応募
住居	8 件	住居(公営住宅含む)探し、雨漏り等のトラブル
教育	74 件	日本語学習、生活支援プログラム、進路相談、就学資金
福祉	10 件	生活困窮、国民健康保険、年金、DV 避難
問合せ	53 件	ボランティア希望、寄付・会員、インタビュー希望、講師依頼
その他	7 件	遺産相続、養子縁組

Ⅲ. 緊急支援

経済的あるいは健康上の問題などを抱えながらも、行政機関や他の支援団体から援助を受けられない難民などの外国出身者に対し、人道的な立場から、緊急的に金銭の貸付や支給を行う。

(i) 緊急退避者に対する日本語学校通学支援

2023年7月～2024年3月まで、アフガニスタンからの退避者9名に対して、日本語学校への通学支援を実施した。通学先は、学校法人 ISI 学園(東京都豊島区東池袋 荻野 正昭理事長)に、学習者の無償受け入れの協力を仰いだ。当会は彼らが学習を継続できるよう、交通費の支援や学習に関する相談対応などを行い、総合的な伴走支援に努めた。

(ii) 「米」を届けるプロジェクト

2022年度に引き続き、栃木県や埼玉県など関東近郊に在住し、食糧支援の必要性が高い方々(アフガニスタン、ミャンマーなど)に対し、約700キロの新米を配布した。提供にあたっては、反町慶治郎氏(一般財団法人 United Will 代表理事)と当会の理事である小島豊氏(株式会社ミリオンインターナショナル 代表取締役社長)の協力のもと、一軒ずつ訪問し配布した。

Ⅳ. 団体／企業によるご協力

今年度も当会の活動に多くのご協力をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

一般財団法人 ファーストリテイリング財団	大正大学鶴川晃ゼミ
一般財団法人 日本国際協力センター (JICE)	千葉大学グローバルボランティア
一般財団法人 United Will	東京都行政書士会 品川支部
学協会	東洋熱工業株式会社
学校法人 ISI 学園	特定非営利活動法人 HATI JAPAN
株式会社 虎屋	認定 NPO 法人プラチナ・ギルドの会
株式会社 ミリオンインターナショナル	明治学院大学「内なる国際化」プロジェクト
株式会社 Mari Company	Alphaville 株式会社
公益財団法人 アジア福祉教育財団	NPO 法人 国際活動市民中心 (CINGA)
公益財団法人 日本国際交流センター (JCIE)	NPO 法人 プラス・アーツ
公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)	NPO 法人 Wco.FP の会
さくら株式会社	
住友商事グループ	

(五十音順・敬称略)

事業活動計算書
(自) 2023年4月1日 (至) 2024年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)	備考	
収益	生活支援事業収益	49,122,685	35,287,153	13,835,532		
	その他の事業収益	49,122,685	35,287,153	13,835,532		
	受託事業収益	16,650,490	34,335,153	-17,684,663		
	その他の事業収益	32,472,195	952,000	31,520,195		
	会費収益	620,000	705,000	-85,000		
	正会員費収益	620,000	705,000	-85,000		
	経常経費寄附金収益	111,138,000	12,636,210	98,501,790		
	その他の収益	912,193	418,403	493,790		
	サービス活動収益計(1)	161,792,878	49,046,766	112,746,112		
	サービス活動増減の部	人件費	16,607,832	18,338,896	-1,731,064	
職員給料		13,856,426	15,312,014	-1,455,588		
職員賞与		620,000	980,000	-360,000		
退職給付費用		230,000	180,000	50,000		
法定福利費		1,656,406	1,621,882	34,524		
賞与引当金繰入		245,000	245,000	0		
事業費		54,405,953	63,383,875	-8,977,922		
生活支援金		10,273,938	28,016,769	-17,742,831		
生活相談費		422,341	733,347	-311,006		
旅費交通費		1,324,408	2,146,889	-822,481		
通信運搬費		944,663	865,478	79,185		
会議費		27,789	88,862	-61,073		
謝金		36,379,356	19,823,486	16,555,870		
水道光熱費		32,369	57,050	-24,681		
業務委託費支出		224,024	6,403,587	-6,179,563		
消耗器具備品費		882,733	852,559	30,174		
手数料		536,614	350,423	186,191		
保険料		96,014	77,488	18,526		
貸借料		2,983,494	3,369,702	-386,208		
印刷費		253,044	572,091	-319,047		
雑費		25,166	26,144	-978		
減価償却費		361,952	361,952	0		
事務費		2,498,816	2,308,707	190,109		
福利厚生費		38,000	23,000	15,000		
旅費交通費		35,702	27,442	8,260		
事務消耗品費		127,639	271,510	-143,871		
印刷製本費		184,312	25,498	158,814		
通信運搬費		346,248	296,155	50,093		
会議費		7,536	0	7,536		
業務委託費		600,000	500,000	100,000		
手数料		156,178	146,145	10,033		
貸借料		754,320	754,320	0		
諸会費		21,375	40,000	-18,625		
謝金		220,000	220,000	0		
雑費		7,506	4,637	2,869		
支払利息		0	0	0		
その他の費用		0	0	0		
サービス活動費用計(2)		73,874,553	84,393,430	-10,518,877		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		87,918,325	-35,346,664	123,264,989		
サービス活動外増減の部		受取利息配当金収益	10,281,248	15,264,819	-4,983,571	
		受取寄附金			0	
		有価証券売却益			0	
		投資有価証券売却益			0	
		基本財産評価益	853,150	0	853,150	
		その他のサービス活動外収益			0	
		雑収益			0	
		サービス活動外収益計(4)	11,134,398	15,264,819	-4,130,421	
	支払利息			0		
	有価証券売却損			0		
投資有価証券売却損			0			
基本財産評価損	0	1,722,279	-1,722,279			
その他のサービス活動外費用			0			
雑損失			0			
サービス活動外費用(5)	0	1,722,279	-1,722,279			
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	11,134,398	13,542,540	-2,408,142			
経常増減差額(7)=(3)+(6)	99,052,723	-21,804,124	120,856,847			
特別増減の部	施設整備等補助金収益			0		
	施設整備等寄附金収益			0		
	固定資産受贈額			0		
	固定資産売却益			0		
	その他の特別収益(有価証券受贈益)			0		
	特別収益計(8)	0	0	0		
	基本金組入額			0		
	固定資産売却損・処分費			0		
	その他の特別損失			0		
	特別費用計(9)	0	0	0		
特別活動増減額(10)=(8)-(9)	0	0	0			
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	99,052,723	-21,804,124	120,856,847			
前期繰越活動増減差額(12)	126,247,926	148,052,050	-21,804,124			
次期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	225,300,649	126,247,926	99,052,723			

貸借対照表
2024年3月31日現在 (単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当 年 度 末	前 年 度 末	増 減		当 年 度 末	前 年 度 末	増 減
流動資産	77,184,534	73,602,164	3,582,370	流動負債	6,578,101	1,557,256	5,020,845
現金預金	76,599,155	73,407,764	3,191,391	前受金	0	0	0
定期預金	0	0	0	預り金	791,004	602,277	188,727
前払金	284,004	194,400	89,604	事業未払金	5,542,097	709,979	4,832,118
預け金	100,000		100,000	賞与引当金	245,000	245,000	0
仮払金	201,375		201,375				
固定資産	254,694,216	154,203,018	100,491,198	固定負債	0	0	0
基本財産	154,676,616	154,185,418	491,198				
投資有価証券	105,782,767	104,929,617	853,150				
土地	39,846,012	39,846,012	0				
建物	9,047,837	9,409,789	-361,952				
その他の固定資産	100,017,600	17,600	100,000,000				
土地	17,600	17,600	0				
積立預金	100,000,000		100,000,000				
				負債の部合計	6,578,101	1,557,256	5,020,845
				純 資 産 の 部			
				基本金	100,000,000	100,000,000	0
				次期繰越活動増減差額	225,300,649	126,247,926	99,052,723
				(うち当期活動増減差額)	99,052,723	-21,804,124	120,856,847
				純資産の部合計	325,300,649	226,247,926	99,052,723
資産の部合計	331,878,750	227,805,182	104,073,568	負債及び純資産の部合計	331,878,750	227,805,182	104,073,568